

各 位

井関農機株式会社

2018年12月期 連結業績 補足資料

(2018年1月1日~2018年12月31日)

1. 2018年12月期 連結業績

(億円、%)

	2017/12期	2018/12期	前期比増減		2018/12期 予想※	予想比 増減
	実績	実績	金額	率		
売上高	1,584	1,560	△ 24	△ 1.5	1,550	+ 10
国内	1,231	1,228	△ 3	△ 0.3	1,219	+ 9
海外	353	332	△ 21	△ 6.0	331	+ 1
売上総利益	462	460	△ 2	△ 0.6	465	△ 5
粗利率	29.2%	29.5%	+0.3%	—	30.0%	△0.5%
販管費	422	428	+ 6	+ 1.2	433	△ 5
営業利益	40	32	△ 8	△ 19.6	32	0
営業利益率	2.5%	2.0%	△0.5%	—	2.1%	0.0%
金融収支	△ 7	△ 8	△ 1	—	△ 7	△ 1
他営業外	9	2	△ 7	—	1	+ 1
経常利益	42	26	△ 16	△ 38.1	26	0
経常利益率	2.7%	1.7%	△1.0%	—	1.7%	0.0%
特別利益	5	1	△ 4	—	2	△ 1
特別損失	△ 9	△ 5	+ 4	—	△ 4	△ 1
税前当期純利益	38	22	△ 16	△ 41.9	24	△ 2
税、税調整額他	△ 10	△ 11	△ 1	—	△ 10	△ 1
親会社株主に帰属する 当期純利益	28	11	△ 17	△ 61.1	14	△ 3

(売上内訳)

(億円)

	2017/12期	2018/12期	前期比 増減	2018/12期	予想比
	実績	実績		予想※	増減
農機製品	571	566	△ 5	559	+ 7
作業機	197	202	+ 5	205	△ 3
補修用部品	147	148	+ 1	149	△ 1
修理収入	54	56	+ 2	56	0
農機関連計	969	972	+ 3	969	+ 3
施設工事	66	57	△ 9	54	+ 3
その他農業関連	196	199	+ 3	196	+ 3
国内計	1,231	1,228	△ 3	1,219	+ 9
北米	91	108	+ 17	107	+ 1
欧州	107	109	+ 2	114	△ 5
中国	38	10	△ 28	10	0
アセアン	48	39	△ 9	37	+ 2
その他	27	18	△ 9	17	+ 1
製品計	311	284	△ 27	285	△ 1
補修用部品	25	26	+ 1	28	△ 2
その他	17	22	+ 5	18	+ 4
海外計	353	332	△ 21	331	+ 1
売上高計	1,584	1,560	△ 24	1,550	+ 10

※予想：2018年11月12日公表予想

1) 前期比

(1) 売上高：1,560 億円（前期比 △24 億円、△1.5%）

- ・国内売上高：1,228 億円（前期比 △3 億円、△0.3%）
農機需要は弱含みで推移しトラクタが減少した一方、新商品を投入した田植機および作業機が好調に推移したことにより農機関連全体では+3 億円。
施設工事は△9 億円の減少。
- ・海外売上高：332 億円（前期比 △21 億円、△6.0%）
北米は、前年の取引条件一部変更影響が一巡し、+17 億円。
欧州は、新商品の投入効果により、+2 億円。
中国は、現地在庫調整に伴う田植機半製品の出荷減等により、△28 億円。
アセアンは、インドネシア向けコンバインおよびタイ向けトラクタの出荷減等により、△9 億円。

(2) 収益：減収による粗利益減少と子会社合併に伴う退職給付計算原則適用等の一時的負担、排ガス規制対応商品等の開発費用や人件費の増加等により営業損益は前期比悪化。

市場低迷を受けた中国持分法適用会社の収益悪化により経常損益悪化。

- ・営業利益：32 億円（前期比 △8 億円）
 - ・経常利益：26 億円（前期比 △16 億円）
 - ・当期純利益：11 億円（前期比 △17 億円）
- 営業利益は、国内販社収支構造改革による収益好転のほか、前期計上のあった施設工事に係る損失がなくなった一方で、減収による粗利益減少、子会社合併に伴う退職給付計算原則適用による一時的負担、排ガス4次規制対応商品等の開発費や人件費の増加等により、△8 億円。
経常利益は、為替差損益や持分法投資損益の悪化があった一方、受取技術料（営業外収益）の計上等により、△16 億円。
当期純利益は、前期計上のあった熊本地震に係る補助金収入、施設違約金等の特別損益がなくなったことと、税金費用の負担により、△17 億円。

2) 予想比

(1) 売上高：予想比+10 億円（国内+9 億円、海外+1 億円）

- ・国内売上高は、トラクタが予想を上回り農機製品が+7 億円。全体で+9 億円。
- ・海外売上高は、ほぼ予想通り。

(2) 収益

- ・営業利益、経常利益は、ほぼ予想通り。
- ・当期純利益は、投資有価証券評価損の計上などにより、△3 億円。

3) 配当：1 株当たり 30 円の期末配当予定

2. 2019年12月期 業績予想

【2019年12月期通期連結業績予想】

(2019年1月1日～2019年12月31日) (億円)

	2017/12期 実績	2018/12期 実績	2019/12期 業績予想	前期比増減	
				金額	率
売上高	1,584	1,560	1,640	+80	+5.2
国内	1,231	1,228	1,267	+39	+3.2
海外	353	332	373	+41	+12.5
営業利益	40	32	40	+8	+25.8
営業利益率	2.5%	2.0%	2.4%	+0.4%	—
経常利益	42	26	26	0	△1.1
経常利益率	2.7%	1.7%	1.6%	△0.1%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	28	11	16	+5	+46.7

*通期想定為替レート：対米ドル=108円、対ユーロ=125円

[業績予想の考え方]

1) 売上高

・国内売上高 1,267億円 (前期比+39億円)

大規模化や畑作・野菜作への作付転換に向けた農機製品および作業機、部品、修理収入等の農機関連の増収を見込み、国内売上高全体で前期比+39億円。

・海外売上高 373億円 (前期比+41億円)

中国、タイでの在庫調整による受注減を織込む一方、堅調な北米、欧州のほかアジア周辺国での増収を見込み、海外売上高全体で前期比+41億円。

2) 収益

・営業利益 40億円 (前期比+8億円)

販管費の増加はあるものの、増収による粗利益の増加に加え、国内販売会社の収支構造改革や海外製品の収益改善等で吸収し、前期比+8億円。

・経常利益 26億円

前期に計上のあった受取技術料(営業外収益)がなくなる等から、前期比同額。

【2019年12月期 期末配当予想】

- ・2019年12月期の期末配当は、1株当たり30円を予定。

以上